

施策評価シート(令和3年度)

(基本施策の大綱) 3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

(基本施策) (4)まちづくり観光の推進

(評価担当者)

産業環境部長

富田 真左哉

■基本施策が目指す姿

来訪者が、地域の魅力に共感し、活気にあふれた交流が行われています。

■関連する分野別計画

■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	主要観光施設入込客数	人	306,650	H27	248,902	216,708	213,350	183,001	201,658	368,000
2	関宿内の観光関連店舗数	店舗	22	H28	22	24	30	30	35	26
3	まちづくり観光に関わる団体数	団体	89	H28	88	90	85	84	84	94
4										
5										

■市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	観光地としての魅力があり、観光施設が整っている	重要度 0.84	0.80	0.77	観光地の魅力に対する市民の認識は、重要度・満足度ともに下降傾向であり、現状との乖離が生じており、関宿をはじめとする観光地としての魅力を市民に対しても更に発信していくことが必要である。
		満足度 ▲ 0.79	▲ 0.90	▲ 0.91	
2		重要度			
		満足度			
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んだ	<p>コロナ禍で訪問客が低減している中、新たなニーズに対応するための観光施策などを示した第2次観光振興ビジョンの最終案を取りまとめた。また、全体的な訪問客はコロナ禍前と比較して、依然として低減しているが、観光協会や関係団体と連携しながら、HP等による情報発信を中心に行うとともに、亀山7座の講習会やトレッキングイベントなどを開催することで、昨年度と比較して、回復傾向にある。さらに、関宿内の観光関連店舗数も5店舗増え、目標値を大きく上回る結果となった。こうした出店は、今後の観光地の魅力となることが期待できる。その一方、亀山納涼大会、関宿祇園夏まつり、街道まつりなどの大きなイベントがコロナ禍で中止となり、にぎわいの創出につなげることができなかった。全体としては、コロナ禍により活動が制限される中、様々な取り組みにより、昨年度と比較して、観光客数も回復傾向にあるものの、目標値とは大きく乖離しており総合判定をBとした。</p>
反省点・課題	
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大を機にマストツーリズムから、「人込みは避ける、近隣の地方部でゆっくり魅力再発見、個人旅行」と観光の質の変化が加速しており、観光地はより一層の本物志向の整備が求められ、それに対応していく必要がある。また、旅行者は事前の情報収集により旅行先を決めるなど、情報発信がより一層重要となってくることから、市の魅力的な観光資源に関連性を持たせて、効果的にPRしていく必要がある。一方で、コロナ禍において自然観光への注目度がより高くなっているため、亀山7座トレイルを中心とするエコツーリズムから既存の観光地へつなげる取り組みが必要である。また、まちづくり観光のコーディネート機能を果たす亀山市観光協会については、事業の縮小や会員数の減少などの課題はあるが、運営強化を図るべく創意工夫した取り組みが求められる。</p>	

今後の展開方針

個人旅行へ移行すると、観光地はより一層の本物志向の整備が求められ、旅前のインターネット検索で魅力的な観光資源があるかなど、観光の質が問われていくと思われる。このことから、本市の特徴でもある歴史・文化・芸術など観光コンテンツの開発や磨き上げ、効果的、戦略的にコンセプトを開発して市のイメージブランディングを行い、戦略的な観光プロモーションを推進していく。また、地域ブランドと連動させ、市の知名度とイメージの向上に努めるとともに、亀山市観光協会の運営強化にも資するよう連携しながら、観光プロモーションに取り組んでいく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 持続可能なまちづくり観光の推進						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できたか】		
B	活動	持続可能なまちづくりを推進するため、第2次観光振興ビジョンの策定に取り組んだ。コロナ禍で活動に制約がある中で、観光協会を支援することで、フィルムコミッションの運営、結婚式場の前撮りなどを対象とするメモリアルフォトサポート事業、城郭巡りスタンプラリー、東海道ひなまつりの実施等に取り組むなど、にぎわいを取り戻す取り組みが行われた。	評価	コロナ禍で訪問客が低減している中、新たなニーズに対応するための観光施策などを示した第2次観光振興ビジョンの最終案を取りまとめた。また、市内の各宿場の「宿場印」製作・販売により、市内観光地の活性化を図るとともに、自主財源の確保にもつながるなど、観光協会の経営基盤の強化に結び付けることができた。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17065	観光協会運営支援事業	主	17,700 / 16,053	B	B
				/		
の取組		内容			活動	成果
事業以外						

施策の方向② 観光地の魅力づくり						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できたか】		
B	活動	コロナ禍により、クルーズ船の訪問客やイベント等を通じたプロモーション活動は実施できなかったため、三重県観光連盟のHP「観光三重」に特設サイトとレポート記事を製作するなど、情報発信を中心に行った。また、亀山7座の知名度向上と市の観光振興を図るため、登山道の整備を行うとともに、講習会やトレッキングイベントを実施した。	評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、十分な観光プロモーションが実施できず、市内観光関連施設等への入込客数も昨年度と比べて減少した。一方、亀山7座トレイルは、現地調査及び登山道修繕、道標、ルートテープ等94回の整備と、17回の講習会やトレッキングイベントを開催するなど、鈴鹿川等源流域の自然の素晴らしさをPRした。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17064	観光プロモーション推進事業	主	760 / 760	C	C
	19012	亀山7座トレイル整備・活用推進事業	主	4,000 / 3,938	A	A
		内容			活動	成果
の取組						
事業以外						

施策の方向③ 快適に滞在できる受け入れ環境の向上						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できたか】		
C	活動	「関宿・周辺地域にぎわいづくり基本方針」に沿った事業を行う団体に対し補助金を交付し、賑わいづくりに資する事業実施を支援した。観光イベントである亀山納涼大会、関宿祇園夏まつり、納涼花火大会、街道まつりは、実行委員会の判断により新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。	評価	にぎわいの創出に向けては、関宿にぎわいづくり補助金を1団体に交付し、支援を行ったが、コロナ禍の影響で活動が制限される中、積極的な取り組みは推進できなかった。観光イベントの実施については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となったことから、観光事業への影響は大きく、にぎわいの創出につなげることができなかった。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	7044	関宿・周辺地域にぎわいづくり推進事業	標	45 / 44	B	B
	7011	団体支援事業(観光振興事業)	標	867 / 867	B	B
		内容			活動	成果
の取組						
事業以外						